



育児・介護休業法改正に伴い、本学における育児・介護等の制度が変更になります（令和7年4月1日から施行）

育児・介護休業法改正に伴い、本学においても令和7年4月から制度変更を行います。柔軟な働き方を実現するための措置として、所定勤務時間を短縮して勤務することができる「育児短時間勤務」を新設、また現行の短時間勤務制度は「育児部分休業」に名称変更し、小学校就学前の子まで取得できるよう延長されます。さらに、「子の看護等休暇」では対象となる子の範囲が「9歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子」に変更になり、子の看護の他、学級閉鎖等でも使用できるようになります。

制度の詳細については「本学における職員の育児・介護等に係る制度変更について（通知）」をご覧ください。

●詳細については、右記ホームページからご覧ください。 <https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/concerned/cat16652/post-15.php>

令和6年度の「人生100年時代のライフデザイン」講義より教職員のみなさまにも役立つトピックをお届けします

SRHRと働く女性の健やかなころとからだを守る

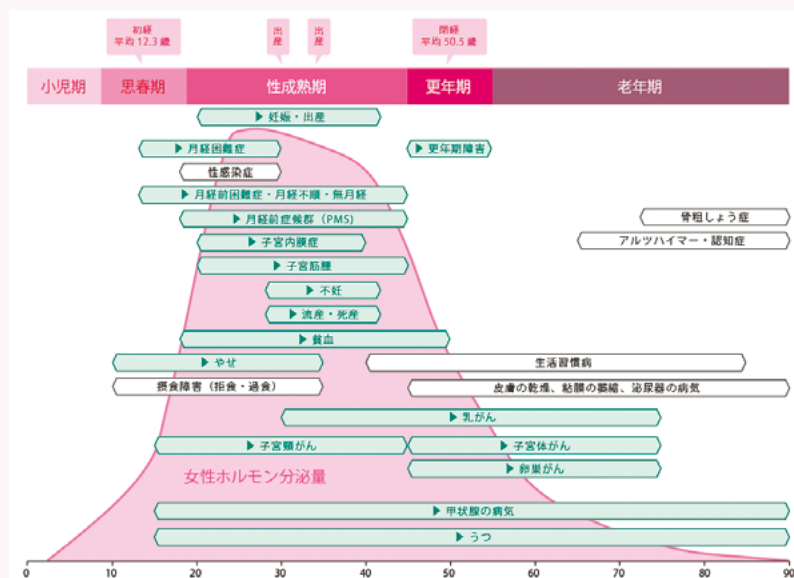
学術研究院（保健学系） 中込 さと子 教授

今の日本で2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsを、聞いたことがないという人はほとんどいないでしょう。それを20年さかのぼり、1994年のカイロでの国際人口開発会議、翌年の第4回世界女性会議の北京行動綱領で採択されたRHR（Reproductive Health and Right:生殖に関する健康と権利）については、十分知られていません。

その後、性的指向や性自認に基づく差別の禁止、安全な中絶ケア、思春期の若者のセクシュアリティなど重要でありながら、激しい価値観の対立によって明記されなかった点を含めて、2018年、グッドマッハー・ランセット委員会がSRHR（Sexual and Reproductive Health and Right）の新定義を出しました。

定義を簡潔に述べると、「SRHRとは、自分の体、性や生殖について、誰もが十分な情報を得られ、自分の望むものを選んで決められること。そのために必要な医療やケアを受けられること。私たちが心も体も健やかに、自分らしく充実した人生を生きるうえで欠かせない基本的人権です（Joicfp <https://www.joicfp.or.jp/jpn/> 訳）。」

ところで、「性と生殖に関する健康」は、「産むため」だけではありません。日頃から不調を放置せず、ウェルビーイングを維持することが大切です。私たちの体は一人一人異なりますし、個人としても年代によって変化します。図は、女性特有の健康課題を示したものです。継続的な健康管理、定期受診、リフレッシュ休暇等、相互に心を配りながら、大いに働き、納得いく仕事ができる大学にいきましょう。



<https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/health/health-issues.html>（上記図リンク先）

●働く女性のころと体の応援サイト <https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/>

NEWS & TOPICS

■ 令和7年度(4～9月期) 研究補助者制度の利用者が決定しました

令和7年度(4-9月期)研究補助者制度の利用者を厳正な審査のうえ決定しました。

選考結果: 利用決定者12名(女性6名、男性6名)

※研究補助者制度については、以下をご参照ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/initiatives/kenkyujojo.php>

■ 大学入学共通テストにおいて一時保育を実施しました

1月18日、19日の大学入学共通テストの際に、松本キャンパスと長野(工学)キャンパスにおいて、入試業務に従事する教職員のお子様をお預かりしました。2日間で延べ8名のお子様をお預かりしました。

■ 令和6年度信州大学男女共同参画推進セミナー～第5弾～の動画のオンデマンド配信を開始しました(学内限定)

当日参加できなかった方や、もう1度セミナーを振り返りたい方など、ぜひこちらからご視聴ください。

<https://fdsd.ealps.shinshu-u.ac.jp/41/fdsd/course/view.php?id=15>

※男女共同参画セミナーの記事についてはこちらをご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/awareness/seminar.php>



活き“粋” Column Relay コラムリレー

第4回

このコラムは、本学で“活き活き”働く教職員がリレー形式でお届けする“粋”なコラムです。

老若男女が楽しめるユニカール(universal curling)

大学院4年間が経とうとする現在、研究の大詰めを迎えています。眼科での診療内容に困んで、ラボでも初となるマウスの眼炎症(ぶどう膜炎)をテーマに、他職種の先生方とも二人三脚で取り組んできた月日は既にかげえのない財産です。間もなく完成形にしたいと思います。

そんな自分の趣味は室内カーリングです。3人1組交代で、取っ手付きの3kgのス



10m先にあるサークルのできるだけ中央を陣取ります。



さまざまな年代、背景の人たちと、共通のテーマで夢中になることは素晴らしい時間です。

トーンを専用カーベットに投げて滑らす以外は氷上ルールと同じです。繊細なコントロールと、状況を深く読み取る頭脳戦は、眼科でいえばぶどう膜炎診療そのものでしょう。既に3度長野県大会で優勝していますが、毎回メンバーとの都合が合

まつだ よりしげ 松田 順繁 医員

医学部附属病院眼科

あなたのリラックス法は？

YouTubeで犬・猫の動画を観ること。

(祖母が飼っていたマルチーズやボメラニアンが多いです)

わないという理由で未だに全国大会には参加しておりません(笑)。

そして今や最も傍らで行うのが写真のような活動です。運も良くこの4年間



2023年～2024年。ユニカールの補強にでもなればと、こちらはあくまで嗜む程度です。

で得た優勝×7つ、準優勝×4つ、3位表彰台×10個、その他入賞×17個を前にすると、実際はこれに割く労力が最も少ないのだと言っても周囲には全く信じてもらえません...

何だか費やす労力と出ている成果が一致せず、まだまだ自分探しの最中です。



お問い合わせ

信州大学 男女共同参画推進センター(SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

バックナンバーはこちらからご覧いただけます。

▶ <https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/article/sufre/>

信州大学 スフレ

検索



男女共同参画推進
SHINSHU UNIVERSITY

教育学部分室

〒380-8544

長野市西長野 6-口

内線 831-4018

工学部分室

〒380-8533

長野市若里 4-17-1

内線 821-5693

農学部分室

〒399-4598

上伊那郡南箕輪村 8304

内線 851-3120

繊維学部分室

〒386-8567

上田市常田 3-15-1

内線 841-5031